

# 地歴公民

1年	地理総合
1年	歴史総合
2年	世界史探究
2年	世界史演習
2年	日本史探究
2年	日本史演習
2年	政治経済(特進S・理系)
2年	ニュースを読み解くⅡ
3年	世界史探究
3年	世界史演習
3年	日本史探究
3年	日本史演習
3年	政治経済
3年	政治経済演習
3年	探究講座・世界の歴史
3年	探究講座・日本の歴史
3年	探究講座・政治経済
3年	ニュースを読み解くⅢ

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースIクラス		地歴	地理総合	必修	2単位	兼平 翔太郎
教科書	二宮書店「わたしたちの地理総合 世界から日本へ」 二宮書店「詳解現代地図 最新版」		副教材	帝国書院「図説地理資料 世界の諸地域NOW 2024」		
授業のねらい	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いていきます。生活文化の多様性を理解することと、地球規模での課題を理解し、主体的に行動することのできる資質を身につけていきます。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認をするため、地図帳を活用します。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・中学校社会の復習		・学習内容の理解。日ごろのさまざまな事象に地理的な視点を加えて理解する ・中学校社会の理解を確認する ・提出物(プリント・課題) ・小テスト		
	期末	・産業の発展と生活文化 ・言語・宗教と生活文化		・学習内容の理解。日ごろのさまざまな事象に地理的な視点を加えて理解する ・地理と政治・経済の結びつきを探究する ・提出物(プリント・課題) ・小テスト		
2 学 期	中間	・言語・宗教と生活文化(つづき) ・人口・食料問題		同上		
	期末	・地球環境問題 ・自然災害と防災		同上		
3 学 期	学年末	・自然災害と防災 ・持続可能な地域づくり		・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う		

## 2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		地歴	地理総合	必修	2単位	兼平 翔太郎
教科書	二宮書店「わたしたちの地理総合 世界から日本へ」 二宮書店「詳解現代地図 最新版」		副教材	帝国書院「図説地理資料 世界の諸地域NOW 2024」		
授業のねらい	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いていきます。生活文化の多様性を理解することと、地球規模での課題を理解し、主体的に行動することのできる資質を身につけていきます。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認をするため、地図帳を活用します。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・中学校社会の復習		・学習内容の理解。日ごろのさまざまな事象に地理的な視点を加えて理解する ・中学校社会の理解を確認する ・提出物(プリント・課題) ・小テスト		
	期末	・産業の発展と生活文化 ・言語・宗教と生活文化		・学習内容の理解。日ごろのさまざまな事象に地理的な視点を加えて理解する ・地理と政治・経済の結びつきを探究する ・提出物(プリント・課題) ・小テスト		
2 学 期	中間	・言語・宗教と生活文化(つづき) ・人口・食料問題		同上		
	期末	・地球環境問題 ・自然災害と防災		同上		
3 学 期	学年末	・自然災害と防災 ・持続可能な地域づくり		・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う		

## 2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		地歴	地理総合	必修	2単位	兼平 翔太郎 折井 千裕 柳澤 駿介
教科書	二宮書店「わたしたちの地理総合 世界から日本へ」 二宮書店「詳解現代地図 最新版」		副教材	帝国書院「図説地理資料 世界の諸地域NOW 2024」		
授業のねらい	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いていきます。生活文化の多様性を理解すること、地球規模での課題を理解し、主体的に行動することのできる資質を身につけていきます。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認するため、地図帳を活用します。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・中学校社会の復習		・学習内容の理解。日ごろのさまざまな事象に地理的な視点を加えて理解する ・中学校社会の理解を確認する ・提出物(プリント・課題) ・小テスト		
	期末	・産業の発展と生活文化 ・言語・宗教と生活文化		・学習内容の理解。日ごろのさまざまな事象に地理的な視点を加えて理解する ・地理と政治・経済の結びつきを探究する ・提出物(プリント・課題) ・小テスト		
2 学 期	中間	・言語・宗教と生活文化(つづき) ・人口・食料問題		同上		
	期末	・地球環境問題 ・自然災害と防災		同上		
3 学 期	学年末	・自然災害と防災 ・持続可能な地域づくり		・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースIクラス		地歴	歴史総合	必修	2単位	大隈 正平
教科書	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へ」		副教材	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へノート」		
授業のねらい	資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得することを目指します。近現代のアジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的に考察し、表現する力を身につけることを目指します。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認をするため、地図帳を活用します。宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・中学校社会の復習		・学習内容の理解。 ・中学校社会の理解を確認する ・提出物(プリント・課題等) ・小テスト		
	期末	・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・見字維新と日本の立憲体制		・学習内容の理解。 ・歴史的な事象と現代の事象とを結びつける視点を持つ。 ・提出物(プリント・課題等) ・小テスト		
2 学 期	中間	・帝国主義の展開とアジア ・帝国主義の展開とアジア(つづき)		同上		
	期末	・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦		同上		
3 学 期	学年末	・戦後の国際秩序と日本の改革		・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		地歴	歴史総合	必修	2単位	大隈 正平
教科書	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へ」		副教材	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へノート」		
授業のねらい	資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得することを目指します。近現代のアジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的に考察し、表現する力を身につけることを目指します。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認をするため、地図帳を活用します。宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・中学校社会の復習		・学習内容の理解。 ・中学校社会の理解を確認する ・提出物(プリント・課題等) ・小テスト		
	期末	・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・見字維新と日本の立憲体制		・学習内容の理解。 ・歴史的な事象と現代の事象とを結びつける視点を持つ。 ・提出物(プリント・課題等) ・小テスト		
2 学 期	中間	・帝国主義の展開とアジア ・帝国主義の展開とアジア(つづき)		同上		
	期末	・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦		同上		
3 学 期	学年末	・戦後の国際秩序と日本の改革		・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		地歴	歴史総合	必修	2単位	大隈 正平 鶴川 大也 鯉沼 雅子 櫻田 泰史
教科書	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へ」		副教材	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へノート」		
授業のねらい	資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得することを目指します。近現代のアジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的に考察し、表現する力を身につけることを目指します。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認をするため、地図帳を活用します。宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・中学校社会の復習		・学習内容の理解。 ・中学校社会の理解を確認する ・提出物(プリント・課題等) ・小テスト		
	期末	・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・見字維新と日本の立憲体制		・学習内容の理解。 ・歴史的な事象と現代の事象とを結びつける視点を持つ。 ・提出物(プリント・課題等) ・小テスト		
2 学 期	中間	・帝国主義の展開とアジア ・帝国主義の展開とアジア(つづき)		同上		
	期末	・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦		同上		
3 学 期	学年末	・戦後の国際秩序と日本の改革		・1、2学期の学習内容の総括として考えや意見をもつ ・発表の場を通して自己・他者と向き合う		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コース/クラス		地歴	世界史探究	必修選択	2単位	小泉 健
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE「世界史詳覧」 山川「世界史用語集 改訂版」		
授業のねらい	多様な国際情勢が見られる現代において、歴史分野を探究し自国の民族や他者への理解を深めることが重視されています。そのような中で、世界の歴史をテーマに探究し、相互理解を深めていく力を養います。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・地理総合、歴史総合分野の復習		・世界の主要都市の場所を正確につかむことができるか。 ・世界の主要地域の気候や地形を理解できるか。 ・近代の日本と世界のつながりについて復習できるか。		
	期末	・オリエント世界と東地中海世界 ・地中海世界と西アジア		・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。		
2 学 期	中間	・東アジア世界 ・内陸ユーラシア世界 ・東南アジア世界の形成		・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 ・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。		
	期末	・イスラーム世界の成立と発展 ・東アジア世界の変容		・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。		
3 学 期	学年末	・ヨーロッパ世界の成立と変容		・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス(文系)		地歴	世界史探究	必修選択	2単位	福島 琢
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE「世界史詳覧」 山川「世界史用語集 改訂版」		
授業のねらい	多様な国際情勢が見られる現代において、歴史分野を探究し自国の民族や他者への理解を深めることが重視されています。そのような中で、世界の歴史をテーマに探究し、相互理解を深めていく力を養います。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・地理総合、歴史総合分野の復習		・世界の主要都市の場所を正確につかむことができるか。 ・世界の主要地域の気候や地形を理解できるか。 ・近代の日本と世界のつながりについて復習できるか。		
	期末	・オリエント世界と東地中海世界 ・地中海世界と西アジア		・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。		
2 学 期	中間	・東アジア世界 ・内陸ユーラシア世界 ・東南アジア世界の形成		・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 ・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。		
	期末	・イスラーム世界の成立と発展 ・東アジア世界の変容		・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。		
3 学 期	学年末	・ヨーロッパ世界の成立と変容		・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス(文系)		地歴	世界史探究	必修選択	2単位	福島 琢 小泉 健
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE 世界史詳覧」		
授業のねらい	多様な国際情勢が見られる現代において、歴史分野を探究し自国の民族や他者への理解を深めることが重視されています。そのような中で、世界の歴史をテーマに探究し、相互理解を深めていく力を養います。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・地理総合、歴史総合分野の復習		・世界の主要都市の場所を正確につかむことができるか。 ・世界の主要地域の気候や地形を理解できるか。 ・近代の日本と世界のつながりについて復習できるか。		
	期末	・オリエント世界と東地中海世界 ・地中海世界と西アジア		・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。		
2 学 期	中間	・東アジア世界 ・内陸ユーラシア世界 ・東南アジア世界の形成		・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 ・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。		
	期末	・イスラーム世界の成立と発展 ・東アジア世界の変容		・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。		
3 学 期	学年末	・ヨーロッパ世界の成立と変容		・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コース/クラス		地歴	世界史演習	必修選択	2単位	小泉 健
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE「世界史詳覧」 山川「世界史用語集 改訂版」		
授業のねらい	多様な国際情勢が見られる現代において、歴史分野を探究し自国の民族や他者への理解を深めることが重視されています。そのような中で、世界の歴史をテーマに探究し、相互理解を深めていく力を養います。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・地理総合、歴史総合分野の復習		・世界の主要都市の場所を正確につかむことができるか。 ・世界の主要地域の気候や地形を理解できるか。 ・近代の日本と世界のつながりについて復習できるか。		
	期末	・オリエント世界と東地中海世界 ・地中海世界と西アジア		・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。		
2 学 期	中間	・東アジア世界 ・内陸ユーラシア世界 ・東南アジア世界の形成		・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 ・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。		
	期末	・イスラーム世界の成立と発展 ・東アジア世界の変容		・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。		
3 学 期	学年末	・ヨーロッパ世界の成立と変容		・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。		

## 2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス(文系)		地歴	世界史演習	必修選択	2単位	福島 琢
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE「世界史詳覧」 山川「世界史用語集 改訂版」		
授業のねらい	多様な国際情勢が見られる現代において、歴史分野を探究し自国の民族や他者への理解を深めることが重視されています。そのような中で、世界の歴史をテーマに探究し、相互理解を深めていく力を養います。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・地理総合、歴史総合分野の復習		・世界の主要都市の場所を正確につかむことができるか。 ・世界の主要地域の気候や地形を理解できるか。 ・近代の日本と世界のつながりについて復習できるか。		
	期末	・オリエント世界と東地中海世界 ・地中海世界と西アジア		・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。		
2 学 期	中間	・東アジア世界 ・内陸ユーラシア世界 ・東南アジア世界の形成		・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 ・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。		
	期末	・イスラーム世界の成立と発展 ・東アジア世界の変容		・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。		
3 学 期	学年末	・ヨーロッパ世界の成立と変容		・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス(文系)		地歴	世界史演習	必修選択	2単位	福島 琢 小泉 健
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE 世界史詳覧」		
授業のねらい	多様な国際情勢が見られる現代において、歴史分野を探究し自国の民族や他者への理解を深めることが重視されています。そのような中で、世界の歴史をテーマに探究し、相互理解を深めていく力を養います。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・地理総合、歴史総合分野の復習		・世界の主要都市の場所を正確につかむことができるか。 ・世界の主要地域の気候や地形を理解できるか。 ・近代の日本と世界のつながりについて復習できるか。		
	期末	・オリエント世界と東地中海世界 ・地中海世界と西アジア		・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。		
2 学 期	中間	・東アジア世界 ・内陸ユーラシア世界 ・東南アジア世界の形成		・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 ・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。		
	期末	・イスラーム世界の成立と発展 ・東アジア世界の変容		・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。		
3 学 期	学年末	・ヨーロッパ世界の成立と変容		・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス(文系)		地歴	日本史探究	必修選択	2単位	鵜川 大也
教科書	東京書籍「日本史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 日本史探究 整理と演習」 啓隆社「日本史 重要語句 Checkリスト」 浜島「新詳日本史」 山川「日本史用語集 改訂版」 実教「詳述日本史資料集」		
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・地理総合、歴史総合分野の復習		・世界の主要都市の場所を正確につかむことができるか。 ・世界の主要地域の気候や地形を理解できるか。 ・近代の日本と世界のつながりについて復習できるか。		
	期末	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開		・学習内容の理解 ・日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める ・提出物(プリント・課題等) ・プレゼンテーションによる相互理解		
2 学 期	中間	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望		同上		
	期末	第3章 中世社会の展開		同上		
3 学 期	学年末	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望		同上		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス(文系)		地歴	日本史探究	必修選択	2単位	高橋 圭太 鯉沼 雅子
教科書	東京書籍「日本史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 日本史探究 整理と演習」 啓隆社「日本史 重要語句 Checkリスト」 帝国書院「図説 日本史 通覧」		
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごとの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・地理総合、歴史総合分野の復習		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の主要都市の場所を正確につかむことができるか。</li> <li>世界の主要地域の気候や地形を理解できるか。</li> <li>近代の日本と世界のつながりについて復習できるか。</li> </ul>		
	期末	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の理解</li> <li>日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める</li> <li>提出物(プリント・課題等)</li> <li>プレゼンテーションによる相互理解</li> </ul>		
2 学 期	中間	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望		同上		
	期末	第3章 中世社会の展開		同上		
3 学 期	学年末	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望		同上		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス(文系)		地歴	日本史演習	必修選択	2単位	鶴川 大也
教科書	東京書籍「日本史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 日本史探究 整理と演習」 啓隆社「日本史 重要語句 Checkリスト」 浜島「新詳日本史」 山川「日本史用語集 改訂版」 実教「詳述日本史資料集」		
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・地理総合、歴史総合分野の復習		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の主要都市の場所を正確につかむことができるか。</li> <li>世界の主要地域の気候や地形を理解できるか。</li> <li>近代の日本と世界のつながりについて復習できるか。</li> </ul>		
	期末	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の理解</li> <li>日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める</li> <li>提出物(プリント・課題等)</li> <li>プレゼンテーションによる相互理解</li> </ul>		
2 学 期	中間	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望		同上		
	期末	第3章 中世社会の展開		同上		
3 学 期	学年末	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望		同上		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス(文系)		地歴	日本史演習	必修選択	2単位	高橋 圭太 鯉沼 雅子
教科書	東京書籍「日本史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 日本史探究 整理と演習」 啓隆社「日本史 重要語句 Checkリスト」 帝国書院「図説 日本史 通覧」		
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・地理総合、歴史総合分野の復習		・世界の主要都市の場所を正確につかむことができるか。 ・世界の主要地域の気候や地形を理解できるか。 ・近代の日本と世界のつながりについて復習できるか。		
	期末	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開		・学習内容の理解 ・日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める ・提出物(プリント・課題等) ・プレゼンテーションによる相互理解		
2 学 期	中間	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望		同上		
	期末	第3章 中世社会の展開		同上		
3 学 期	学年末	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望		同上		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス(理系)		公民	政治経済	必修	2単位	折井 千裕
教科書	第一学習社「高等学校改訂版 政治・経済」		副教材	浜島書店「最新図説 政経」		
授業のねらい	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごとの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期は期末試験を、2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・公共の復習		1年次の学習内容を理解できているか。		
	期末	民主政治の基本原理と日本国憲法 ①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配		民主政治の本質を把握しながら政治と私たちとの関わりについて理解する。基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、現代の政治の特質について考察する。自由権と社会権の違いと人権保障の背景を理解し、民主主義についても考察する。基本的人権新しい人権について意欲的に理解を深めその本質を把握する。		
2 学 期	中間	③議会制民主主義と政治の特質 ④基本的 人権の保		国会・内閣・裁判所の関係とそれぞれの役割や日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。を含めて考察する。法律の制定過程や裁判のしくみなどを理解する。内閣の権限や違憲法令審査権について、正しく把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。		
	期末	⑤国会の 組織と機能 ⑥内閣の 機構と機能		司法制度の改革について正確に把握しその上で問題点を含めて考察する。法律の制定過程や裁判のしくみなどを理解する。内閣の権限や違憲法令審査権について、正しく把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。		
3 学 期	学年末	⑦裁判所 の機能と人 ⑧地方自 治制度と住		選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを認識する。マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。国と地方の関係を地方分権をもとに考察する。マス・メディアがもつ影響力を把握しながら、報道は一つの判断材料であることを理解する。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		公民	ニュースを読み解くⅡ	選択	2単位	柳澤 駿介
教科書			副教材			
授業のねらい	検定とは自分が持っている力を示すバロメーターです。社会系の検定には歴史検定(日本史・世界史)・地理検定・ニュース検定などがあり、これらの資格は進学時に役に立つと共に、何かに対して一生懸命に取り組む姿勢を身につけていてもらいたいと思います。					
学習上の留意点	受検をするからには合格する意思を持って取り組める生徒を求めます。					
評価方法	週2時間の学習のみで検定に合格することは難しいです。自分で勉強する時間を作り、コツコツと取り組むことで結果は必ずついてきます。その努力を惜しまないようにしてください。また、授業の取り組みも重視しますので検定に合格＝良い成績とは限りません。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	N検定対策		・学習内容の理解 ・検定に向けての取り組み ・合格実績		
	期末	N検定		同上		
2 学 期	中間	N検定対策		同上		
	期末	N検定		同上		
3 学 期	学年末	まとめ(ニュースを読み解く)		同上		
		調べ学習・発表		同上		

## 2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コース/クラス		地歴	世界史探究	必修選択	4単位	福島 琢
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島「NEW STAGE 世界史詳覧」 山川「世界史用語集 改訂版」		
授業のねらい	歴史事象の理解を基礎にして、学習者自身が考え、意見をまとめ、さらにそれが学習者の主張や行動、生き方にまでつながるような授業を目指していきます。同時に大学受験にも対応できるよう配慮していきます。					
学習上の留意点	宿題を課します。授業時間内だけでなく、各講習でも授業を進めますので必ず参加して下さい。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・大交易時代、宗教改革 ・近代のヨーロッパ		・学習内容の理解 ・歴史的な事象と現代の国際関係とを結びつける視点を養う ・提出物(プリント・課題等)		
	期末	・市民革命 ・19世紀の西欧諸国		同上		
2 学 期	中間	・帝国主義 ・アフリカ分割 ・第一次世界大戦以後の歴史		同上		
	期末	・第二次世界大戦後の世界 ・21世紀の歴史		同上		
3 学 期	学年末					

## 2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス(文系)		地歴	世界史探究	必修選択	4単位	兼平 翔太郎
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE「世界史詳覧」 山川「世界史用語集 改訂版」		
授業のねらい	歴史事象の理解を基礎にして、学習者自身が考え、意見をまとめ、さらにそれが学習者の主張や行動、生き方にまでつながるような授業を目指していきます。同時に大学受験にも対応できるよう配慮していきます。					
学習上の留意点	宿題を課します。授業時間内だけでなく、各講習でも授業を進めますので必ず参加して下さい。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・大交易時代、宗教改革 ・近代のヨーロッパ		・学習内容の理解 ・歴史的な事象と現代の国際関係とを結びつける視点を養う ・提出物(プリント・課題等)		
	期末	・市民革命 ・19世紀の西欧諸国		同上		
2 学 期	中間	・帝国主義 ・アフリカ分割 ・第一次世界大戦以後の歴史		同上		
	期末	・第二次世界大戦後の世界 ・21世紀の歴史		同上		
3 学 期	学年末					

## 2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス(文系)		地歴	世界史探究	必修選択	4単位	折井 千裕 小泉 健 柳澤 駿介
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE 世界史詳覧」		
授業のねらい	歴史事象の理解を基礎にして、学習者自身が考え、意見をまとめ、さらにそれが学習者の主張や行動、生き方にまでつながるような授業を目指していきます。同時に大学受験にも対応できるよう配慮していきます。					
学習上の留意点	世界各国の位置を世界地図上で確認できるようにしておいてください。 地歴高等地図を持参するのが望ましいです。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中華帝国とアジア</li> <li>・大交易時代、宗教改革</li> <li>・近代のヨーロッパ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の理解</li> <li>・歴史的な事象と現代の国際関係とを結びつける視点を養う</li> <li>・提出物(プリント・課題等)</li> </ul>		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民革命</li> <li>・19世紀の西欧諸国</li> </ul>		同上		
2 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国主義</li> <li>・アフリカ分割</li> <li>・第一次世界大戦以後の歴史</li> </ul>		同上		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦後の世界</li> <li>・21世紀の歴史</li> </ul>		同上		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースクラス		地歴	世界史演習	必修選択	4単位	兼平 翔太郎
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE「世界史詳覧」 山川「世界史用語集 改訂版」		
授業のねらい	歴史事象の理解を基礎にして、学習者自身が考え、意見をまとめ、さらにそれが学習者の主張や行動、生き方にまでつながるような授業を目指していきます。同時に大学受験にも対応できるよう配慮していきます。					
学習上の留意点	宿題を課します。授業時間内だけでなく、各講習でも授業を進めますので必ず参加して下さい。					
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・中華帝国と東アジア ・イスラーム世界 オスマン以降		・学習内容の理解 ・歴史事象に対する意見 ・提出物(プリント・課題等)		
	期末	・インド史 ムガル帝国以降 ・東南アジア史		同上		
2 学 期	中間	・中央ユーラシア ・東欧の歴史		同上		
	期末	・共通テスト、私大対策の問題演習		同上		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		地歴	世界史演習	必修選択	4単位	平井 廣治
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE「世界史詳覧」 山川「世界史用語集 改訂版」		
授業のねらい	歴史事象の理解を基礎にして、学習者自身が考え、意見をまとめ、さらにそれが学習者の主張や行動、生き方にまでつながるような授業を目指していきます。同時に大学受験にも対応できるよう配慮していきます。					
学習上の留意点	宿題を課します。授業時間内だけでなく、各講習でも授業を進めますので必ず参加して下さい。					
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	・中華帝国と東アジア ・イスラーム世界 オスマン以降		・学習内容の理解 ・歴史事象に対する意見 ・提出物(プリント・課題等)		
	期末	・インド史 ムガル帝国以降 ・東南アジア史		同上		
2 学 期	中間	・中央ユーラシア ・東欧の歴史		同上		
	期末	・共通テスト、私大対策の問題演習		同上		
3 学 期	学年末					

## 2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス(文系)		地歴	世界史演習	必修選択	2単位	折井 千裕 小泉 健 柳澤 駿介
教科書	東京書籍「世界史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 世界史探究 整理と演習」 啓隆社「世界史 重要語句 Checkリスト」 浜島NEW STAGE「世界史詳覧」		
授業のねらい	歴史事象の理解を基礎にして、学習者自身が考え、意見をまとめ、さらにそれが学習者の主張や行動、生き方にまでつながるような授業を目指していきます。同時に大学受験にも対応できるよう配慮していきます。					
学習上の留意点	教材を必ず持参して下さい。 授業内で小テストを実施します。					
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大交易時代、宗教改革</li> <li>・近代のヨーロッパ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の理解</li> <li>・歴史的な事象と現代の国際関係とを結びつける視点を養う</li> <li>・提出物(プリント・課題等)</li> </ul>		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民革命</li> <li>・19世紀の西欧諸国</li> </ul>		同上		
2 学 期	中間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国主義</li> <li>・アフリカ分割</li> <li>・第一次世界大戦以後の歴史</li> </ul>		同上		
	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦後の世界</li> <li>・21世紀の歴史</li> </ul>		同上		
3 学 期	学年末					

## 2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス(文系)		地歴	日本史探究	必修選択	4単位	鵜川 大也
教科書	東京書籍「日本史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 日本史探究 整理と演習」 啓隆社「日本史 重要語句 Checkリスト」 浜島「新詳日本史」 山川「日本史用語集 改訂版」		
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	第4編 近現代の地域・日本の世界 第1章 近代社会の幕開け		・学習内容の理解 ・日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める ・提出物(プリント・課題等)		
	期末	第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展開		同上		
2 学 期	中間	第3章 近現代社会の展開(続き)		同上		
	期末	第3章 近現代社会の展開(続き)		同上		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス(文系)		地歴	日本史探究	必修選択	4単位	高橋 圭太 島田 世古
教科書	東京書籍「日本史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 日本史探究 整理と演習」 啓隆社「日本史 重要語句 Checkリスト」 浜島「新詳日本史」		
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。					
学習上の留意点	授業内で発表する機会を設けることがあります。 宿題を課すことがありますので、確実に提出して下さい。 授業内で小テストを実施することもありますので、日ごろの家庭学習から意欲的に取り組みましょう。					
評価方法	1学期・2学期は中間試験と期末試験を、3学期は学年末試験を実施します。 その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	第4編 近現代の地域・日本の世界 第1章 近代社会の幕開け		・学習内容の理解 ・日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める ・提出物(プリント・課題等)		
	期末	第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展開		同上		
2 学 期	中間	第3章 近現代社会の展開(続き)		同上		
	期末	第3章 近現代社会の展開(続き)		同上		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		地歴	日本史演習	必修選択	4単位	鵜川 大也
教科書	東京書籍「日本史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 日本史探究 整理と演習」 啓隆社「日本史 重要語句 Checkリスト」 浜島「新詳日本史」 山川「日本史用語集 改訂版」		
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。					
学習上の留意点	宿題を課します。授業時間内だけでなく、各講習でも授業を進めますので必ず参加して下さい。					
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	第4編 近現代の地域・日本の世界 第1章 近代社会の幕開け		・学習内容の理解 ・日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める ・提出物(プリント・課題等)		
	期末	第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展開		同上		
2 学 期	中間	第3章 近現代社会の展開(続き)		同上		
	期末	第3章 近現代社会の展開(続き)		同上		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス(文系)		地歴	日本史演習	必修選択	2単位	高橋 圭太 島田 世古
教科書	東京書籍「日本史探究」		副教材等	東京書籍「要点マスター 日本史探究 整理と演習」 啓隆社「日本史 重要語句 Checkリスト」 浜島「新詳日本史」		
授業のねらい	日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。					
学習上の留意点	教材を必ず持参して下さい。 授業内で小テストを実施します。					
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	第4編 近現代の地域・日本の世界 第1章 近代社会の幕開け		・学習内容の理解 ・日本における歴史的事象と世界との繋がりについての理解を深める ・提出物(プリント・課題等)		
	期末	第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展開		同上		
2 学 期	中間	第3章 近現代社会の展開(続き)		同上		
	期末	第3章 近現代社会の展開(続き)		同上		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コース/クラス		公民	政治経済	必修	4単位	櫻田 泰史
教科書	第一学習社「高等学校改訂版 政治・経済」		副教材	浜島書店「最新図説 政経」		
授業のねらい	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。					
学習上の留意点	宿題を課すことがありますので確実に提出して下さい。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	民主政治の基本原則と日本国憲法 ①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と政治の特質		民主政治の本質を把握しながら政治と私たちとの関わりについて理解する。基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、現代の政治の特質について考察する。自由権と社会権の違いと人権保障の背景を理解し、民主主義についても考察する。基本的人権新しい人権について意欲的に理解を深めその本質を把握する。		
	期末	④基本的人権の保障と新しい人権 ⑤国会の組織と機能 ⑥内閣の機構と機能		人権に関する判例を活用しながら、権利と義務などについて理解する。人権を主張する際、時として「公共の福祉」が絡むことを理解する。国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を深める。国会・内閣・裁判所の関係とそれぞれの役割や日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。		
2 学 期	中間	⑦裁判所の機能と人権保障 ⑧地方自治制度と住民の権利		司法制度の改革について正確に把握しその上で問題点を含めて考察する。法律の制定過程や裁判のしくみなどを理解する。内閣の権限や違憲法令審査権について、正しく把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。		
	期末	⑨政党政治と選挙 ⑩世論と現代政治の課題		選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを認識する。マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。国と地方の関係を地方分権をもとに考察する。マス・メディアがもつ影響力を把握しながら、報道は一つの判断材料であることを理解する。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		公民	政治経済	必修	2単位	長原 亮
教科書	第一学習社「高等学校改訂版 政治・経済」		副教材	浜島書店「最新図説 政経」		
授業のねらい	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。					
学習上の留意点	宿題を課すことがありますので確実に提出して下さい。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	民主政治の基本原則と日本国憲法 ①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と政治の特質		民主政治の本質を把握しながら政治と私たちとの関わりについて理解する。基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、現代の政治の特質について考察する。自由権と社会権の違いと人権保障の背景を理解し、民主主義についても考察する。基本的人権新しい人権について意欲的に理解を深めその本質を把握する。		
	期末	④基本的人権の保障と新しい人権 ⑤国会の組織と機能 ⑥内閣の機構と機能		人権に関する判例を活用しながら、権利と義務などについて理解する。人権を主張する際、時として「公共の福祉」が絡むことを理解する。国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を深める。国会・内閣・裁判所の関係とそれぞれの役割や日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。		
2 学 期	中間	⑦裁判所の機能と人権保障 ⑧地方自治制度と住民の権利		司法制度の改革について正確に把握しその上で問題点を含めて考察する。法律の制定過程や裁判のしくみなどを理解する。内閣の権限や違憲法令審査権について、正しく把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。		
	期末	⑨政党政治と選挙 ⑩世論と現代政治の課題		選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを認識する。マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。国と地方の関係を地方分権をもとに考察する。マス・メディアがもつ影響力を把握しながら、報道は一つの判断材料であることを理解する。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		公民	政治経済	必修	2単位	長原 亮 赤尾 明美
教科書	第一学習社「高等学校改訂版 政治・経済」		副教材	浜島書店「最新図説 政経」		
授業のねらい	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。					
学習上の留意点	宿題を課すことがありますので確実に提出して下さい。					
評価方法	1学期、2学期とも中間試験、期末試験を実施します。その他、課題や小テスト、授業の取り組みも加味します。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	民主政治の基本原則と日本国憲法 ①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と政治の特質		民主政治の本質を把握しながら政治と私たちとの関わりについて理解する。基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、現代の政治の特質について考察する。自由権と社会権の違いと人権保障の背景を理解し、民主主義についても考察する。基本的人権新しい人権について意欲的に理解を深めその本質を把握する。		
	期末	④基本的人権の保障と新しい人権 ⑤国会の組織と機能 ⑥内閣の機構と機能		人権に関する判例を活用しながら、権利と義務などについて理解する。人権を主張する際、時として「公共の福祉」が絡むことを理解する。国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を深める。国会・内閣・裁判所の関係とそれぞれの役割や日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。		
2 学 期	中間	⑦裁判所の機能と人権保障 ⑧地方自治制度と住民の権利		司法制度の改革について正確に把握しその上で問題点を含めて考察する。法律の制定過程や裁判のしくみなどを理解する。内閣の権限や違憲法令審査権について、正しく把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。		
	期末	⑨政党政治と選挙 ⑩世論と現代政治の課題		選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを認識する。マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。国と地方の関係を地方分権をもとに考察する。マス・メディアがもつ影響力を把握しながら、報道は一つの判断材料であることを理解する。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス(文系)		公民	政治経済演習	選択必修	3単位	櫻田 泰史
教科書	第一学習社「高等学校改訂版 政治・経済」		副教材	浜島書店「最新図説 政経」		
授業のねらい	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。					
学習上の留意点	宿題を課すことがありますので確実に提出して下さい。					
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	国際法の果たす役割 ①国際社会の変遷 ②国際法の意義		国際法が必要とされるに至った歴史的経緯について、過去の紛争や人権侵害などの具体例をあげて説明している。 ・条約と国内法の関係や、日本の領土をめぐる問題の現状について、さまざまな主張を踏まえたうえで説明している。		
	期末	国際法の果たす役割 ③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み		勢力均衡と集団安全保障について十分理解している。 国際連合の組織と役割、そのしくみについて十分理解している。国際連合は果たすべき役割について、今日の国際情勢の変化を踏まえて具体例をあげながら、自分の考えを十分に説明している。		
2 学 期	中間	国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 ①日本の安全保障と国際貢献 ②日本の国際貢献のあり方		日本国憲法の平和主義と防衛政策との関連について、十分に理解している。 日本の安全保障について、国際情勢と関連させて十分に理解している。 国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
	期末	⑨政党政治と選挙 ⑩世論と現代政治の課題		選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを認識する。マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。国と地方の関係を地方分権をもとに考察する。マス・メディアがもつ影響力を把握しながら、報道は一つの判断材料であることを理解する。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス(文系)		公民	政治経済演習	選択必修	3単位	長原 亮 赤尾 明美 櫻田 泰史
教科書	第一学習社「高等学校改訂版 政治・経済」		副教材	浜島書店「最新図説 政経」		
授業のねらい	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。					
学習上の留意点	宿題を課すことがありますので確実に提出して下さい。					
評価方法	宿題を課します。授業時間内だけでなく、自宅学習も合わせた授業展開をしていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	国際法の果たす役割 ①国際社会の変遷 ②国際法の意義		国際法が必要とされるに至った歴史的経緯について、過去の紛争や人権侵害などの具体例をあげて説明している。 ・条約と国内法の関係や、日本の領土をめぐる問題の現状について、さまざまな主張を踏まえたうえで説明している。		
	期末	国際法の果たす役割 ③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み		勢力均衡と集団安全保障について十分理解している。 国際連合の組織と役割、そのしくみについて十分理解している。国際連合は果たすべき役割について、今日の国際情勢の変化を踏まえて具体例をあげながら、自分の考えを十分に説明している。		
2 学 期	中間	国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 ①日本の安全保障と国際貢献 ②日本の国際貢献のあり方		日本国憲法の平和主義と防衛政策との関連について、十分に理解している。 日本の安全保障について、国際情勢と関連させて十分に理解している。 国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
	期末	⑨政党政治と選挙 ⑩世論と現代政治の課題		選挙制度について学び、参政権の保障が国民主権へと連なっていることを認識する。マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて認識する。国と地方の関係を地方分権をもとに考察する。マス・メディアがもつ影響力を把握しながら、報道は一つの判断材料であることを理解する。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		地歴	探究講座・世界の歴史	選択	2単位	福島 琢
教科書			副教材			
授業のねらい	「世界の歴史」をテーマに自分自身で教養を深めていきます。深掘したテーマをプレゼンテーションしてもらいます。					
学習上の留意点	「世界史B」ではなかなか取り上げられない内容や、簡潔に終わってしまいうテーマについて深掘します。生徒自身がテーマを選定し、プレゼンテーションすることも実施します。					
評価方法	プレゼンテーションの内容に評価をします。準備、表現力その他の項目で評価をつけていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	自身のテーマを選定していきます。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の理解</li> <li>・歴史事象に対する意見</li> </ul>		
	期末	テーマについて深掘りしていきます。		地歴好奇心を高めていきます。		
2 学 期	中間	プレゼンテーションの準備を行います。		プレゼンテーションに必要と思われる事項を創造する力を身につけます。		
	期末	互いのプレゼンテーションを評価し合います。		プレゼンテーション能力を身につけます。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		地歴	探究講座・日本の歴史	選択	2単位	大隈 正平
教科書			副教材			
授業のねらい	「日本の歴史」をテーマに自分自身で教養を深めていきます。深掘したテーマをプレゼンテーションしてもらいます。					
学習上の留意点	「日本史B」ではなかなか取り上げられない内容や、簡潔に終わってしまいうテーマについて深掘します。生徒自身がテーマを選定し、プレゼンテーションすることも実施します。					
評価方法	プレゼンテーションの内容に評価をします。準備、表現力その他の項目で評価をつけていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	自身のテーマを選定していきます。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の理解</li> <li>・歴史事象に対する意見</li> </ul>		
	期末	テーマについて深掘りしていきます。		地歴好奇心を高めていきます。		
2 学 期	中間	プレゼンテーションの準備を行います。		プレゼンテーションに必要と思われる事項を創造する力を身につけます。		
	期末	互いのプレゼンテーションを評価し合います。		プレゼンテーション能力を身につけます。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		公民	探究講座・政治経済	選択	2単位	高橋 圭太
教科書			副教材			
授業のねらい	有権者として社会の中で生きていくために様々な分野に目を向けていきます。日本社会を構築していく重要な若者であるという自覚を芽生えさせることが狙いです。					
学習上の留意点	必修科目「政治経済」ではなかなか取り上げられない内容や、簡潔に終わってしまいうテーマについて深堀します。生徒自身がテーマを選定し、プレゼンテーションすることも実施します。					
評価方法	プレゼンテーションの内容に評価をします。準備、表現力その他の項目で評価をつけていきます。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	自身のテーマを選定していきます。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の理解</li> <li>・歴史事象に対する意見</li> </ul>		
	期末	テーマについて深堀りしていきます。		地歴好奇心を高めていきます。		
2 学 期	中間	プレゼンテーションの準備を行います。		プレゼンテーションに必要と思われる事項を創造する力を身につけます。		
	期末	互いのプレゼンテーションを評価し合います。		プレゼンテーション能力を身につけます。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		公民	ニュースを読み解くⅢ	選択	2単位	長原 亮
教科書			副教材			
授業のねらい	検定とは自分が持っている力を示すバロメーターです。社会系の検定には歴史検定(日本史・世界史)・地理検定・ニュース検定などがあり、これらの資格は進学時に役に立つと共に、何かに対して一生懸命に取り組む姿勢を身につけていてもらいたいと思います。					
学習上の留意点	受検をするからには合格する意思を持って取り組める生徒を求めます。					
評価方法	週2時間の学習のみで検定に合格することは難しいです。自分で勉強する時間を作り、コツコツと取り組むことで結果は必ずついてきます。その努力を惜しまないようにしてください。また、授業の取り組みも重視しますので検定に合格＝良い成績とは限りません。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	N検定対策		・学習内容の理解 ・検定に向けての取り組み ・合格実績		
	期末	N検定		同上		
2 学 期	中間	N検定対策		同上		
	期末	N検定		同上		
3 学 期	学年末	まとめ(ニュースを読み解く)		同上		